

# 《京都》御所と離宮の葉(お)

其の六



## — 京都御所 —

### 京都御所略史

京都御所は、いわゆる内裏で、明治維新まで皇居でした。もともと桓武天皇が8世紀末に平安京を造られたときの内裏は現在の京都御所より少し西にあり、それは大極殿などの国家的行事を行う施設や様々な役所とともに大内裏(平安宮)と呼ばれる四角いエリアの中にありました。その内裏を平安宮内裏と呼んだりします。時代とともにその平安宮内裏はあまり使われ



京都御所の正門 建礼門

なくなり、一方、大内裏の外に皇居を営まれることが多くなって(里内裏と呼ばれます)、やがて平安宮内裏は廃絶、その後現在の御所の地にあった里内裏が14世紀以降内裏として使用され続け、明治維新に至りました。

14世紀以降の歴史でも、何度も建て直しがあり、また当初は小規模だったものが、次第に拡張しました。江戸時代には徳川幕府によって8回建て直しが行われ(そのうち6回は火災による建て直し)、造営された時の元号をもって、慶長度内裏、寛永度内裏などと呼ばれ、また造営事業についても慶長度御造営、寛永度御造営などと呼ばれたりします。建物様式や全体構成は時代の進展により変化し、当初の平安宮内裏とは相当に違った様相を呈するようになりましたが、寛政2年(1790)造営の寛政度内裏において、紫宸殿・清涼殿・飛香舎などの建築に際し、平安時代の古い様式を復興することが行われました。この内裏は嘉永7年(1854)に火災に遭い、翌年の安政2年に再建されますが、この安政度内裏は寛政度内裏をほぼそのままの形で再建したものであり、これが現在の京都御所です。(次頁に続く)



手前から小御所、御学問所。右奥に見えるのが御常御殿の屋根。

 マークは、御所・離宮の外側から、いつでもご覧になれます。

 マークは、参観でご覧になれます。申込み方法は、<http://sankan.kunaicho.go.jp/> をご覧ください。

 マークは、春と秋には申込みが必要のない一般公開の際にご覧になれます。下記にて日程等をご確認ください。 <http://www.kunaicho.go.jp/event/kyotogosho/kyotogosho.html>

 マークは、通常公開していない場所にあります。

## 京都御所略史（続き）



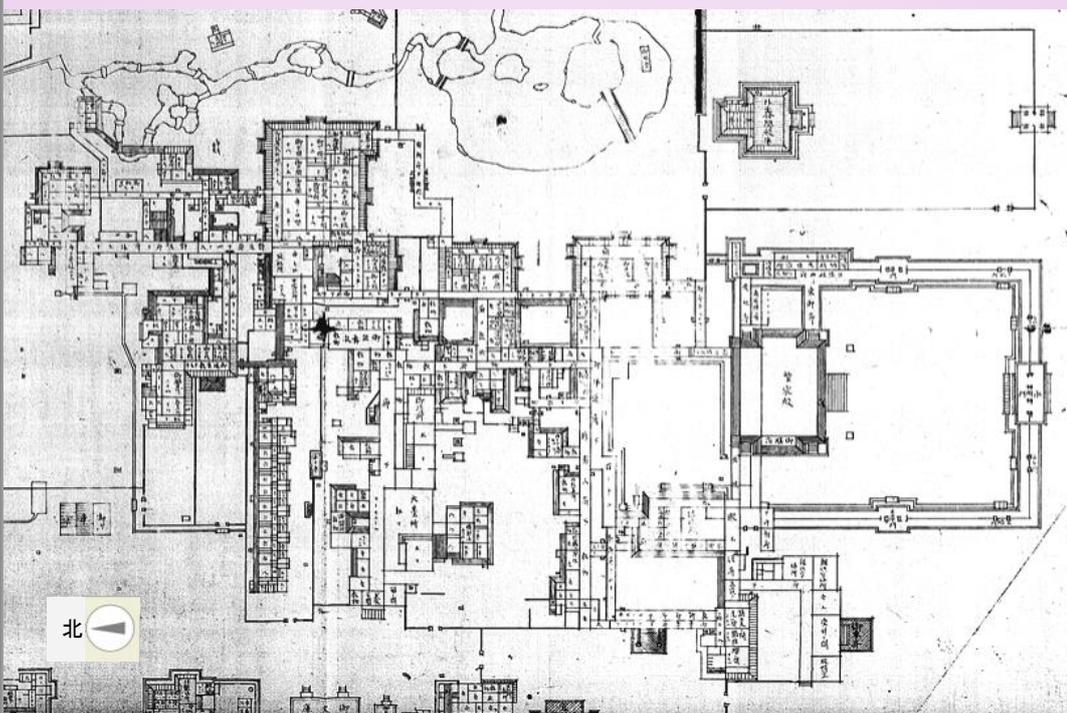
大正天皇御即位の際に建てられた新御車寄。右に見えるのが紫宸殿の屋根。



明治維新以降も京都御所は一定の変化を遂げています。北側にたいのやあった対屋という大きな御殿が明治期に取り払われ、一方大正4年の大正天皇即位礼にしんみくまよせあわせて新御車寄が新たに造られました。第二次大戦中には空襲による火災から主要建物を守るという目的

のもとに御台所や渡り廊下等が撤去されました。その一部は戦後、要望の高まりを受けて昭和40年代に復元されましたが、全てではありません。現在の京都御所の図を見ると、広い敷地の中に建物がいくつかに分かれて余裕をもって建っているように見えますが、昔はもっと建物があつた、それらは廊下でつながっていたのです。

京都御所の建物は上記の通り古い様式を復興したものがあつた、平安朝の昔を偲ばせてくれますが、それらは江戸時代ではもっぱら儀式に用いられたもので、そのほか、日常生活や実的な行事に用いられた建物は時代と共に発達してきた様式に基づいており、種々の建築様式が見られます。庭園も美しく、こごしよ おがくもんじよ小御所・御学問所の前にある御池庭は、池を中心とし

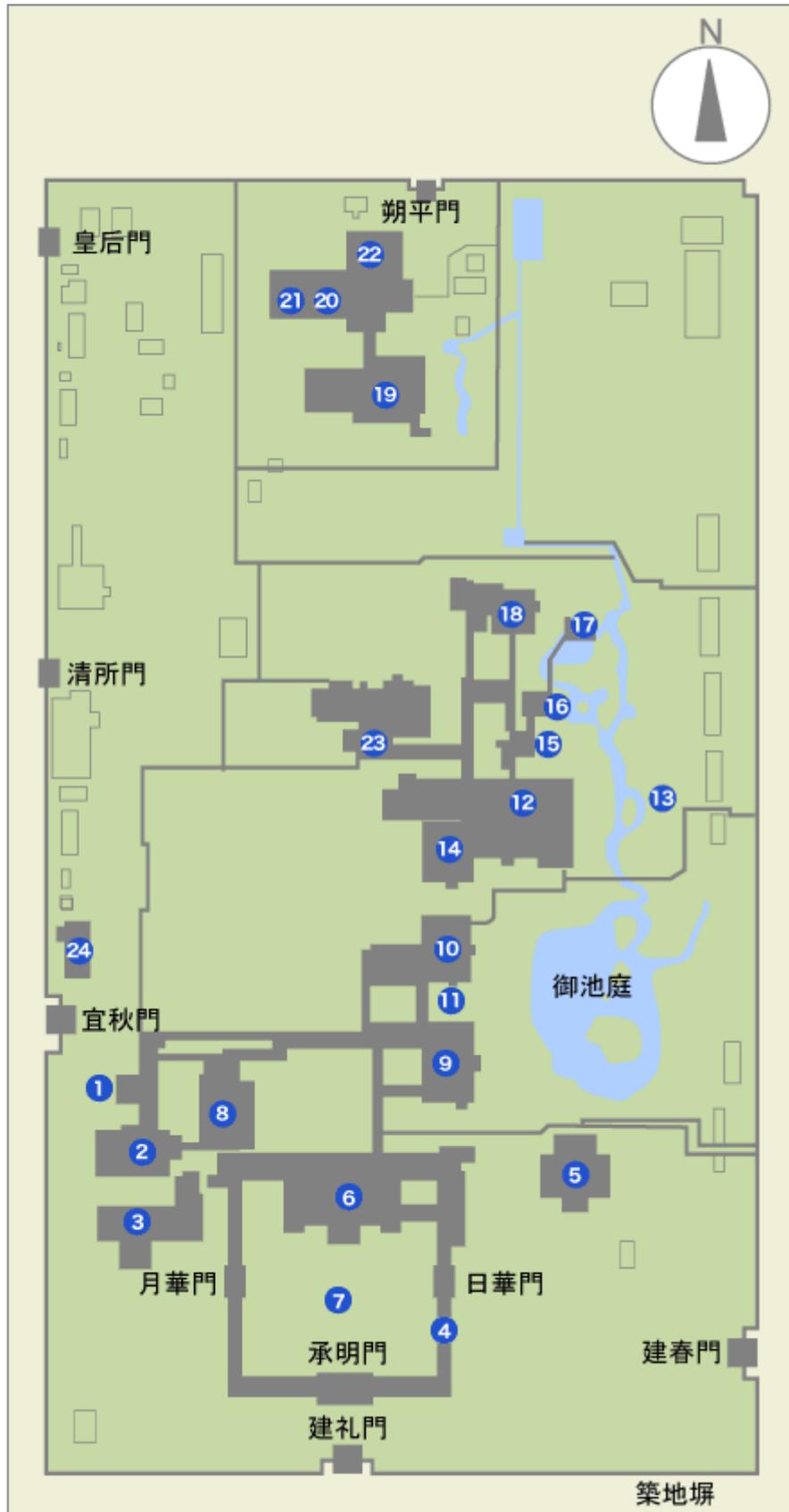


て落ち着いた広がりを感じさせ、行事や政治に緊張した人々を癒やしたことでおつねごてんしょう。御常御殿前ごないていの御内庭は孝明天皇や明治天皇が楽しまれたお庭です。また御殿内には障壁画が約1800面あり、安政度内裏造営当時の京都絵師の絵を広く見ることができます。一部には寛政度内裏の障壁画も残されています。

昭和2年に作成された京都御所の図面(南部分)。各御殿は廊下で繋がり、建て込んでいる。

# 京都御所案内図

- ① 御車寄
- ② 諸大夫の間
- ③ 新御車寄
- ④ 回廊
- ⑤ 春興殿
- ⑥ 紫宸殿
- ⑦ 南庭
- ⑧ 清涼殿
- ⑨ 小御所
- ⑩ 御学問所
- ⑪ 蹴鞠の庭
- ⑫ 御常御殿
- ⑬ 御内庭
- ⑭ 御三間
- ⑮ 迎春
- ⑯ 御涼所
- ⑰ 聴雪
- ⑱ 御花御殿
- ⑲ 皇后宮常御殿
- ⑳ 若宮御殿
- ㉑ 姫宮御殿
- ㉒ 飛香舎
- ㉓ 参内殿
- ㉔ 参観者休所



**観**マークは、参観でご覧になれます。申込み方法は、<http://sankan.kunaicho.go.jp/> をご覧ください。

**通**マークは、申込不要の京都御所通年公開でご覧になれます。

詳細は、<http://www.kunaicho.go.jp/info/kyototsunen-sks-sankan.html> をご覧ください。

これまでの「《京都》御所と離宮の栞」については、宮内庁ホームページの[こちら](#)からご覧ください。

<問い合わせ先>  
 〒602-8611 京都市上京区京都御苑3 宮内庁京都事務所  
 代表電話：075-211-1211 参観係直通電話：075-211-1215